

竹びとラーニングで基礎学力を磨こう！

▶ 「竹びとラーニング」とは？

「竹びとラーニング」は、本学が皆さんのために用意したeラーニングシステムです。
5教科の基礎基本を不得意分野に的を絞って学び直し、大学の授業を理解するために必要な**基礎学力**や就職に必須となった**一般常識試験の対策力**を身に付けることができます。
インターネットに接続されていれば、PCはもちろん、スマートフォンでも学習できるからとても便利！！
移動時間や待ち時間などのすきま時間を利用して学習を進めましょう。

▶ アクセス方法（入学後アクセス方法が変更になります）

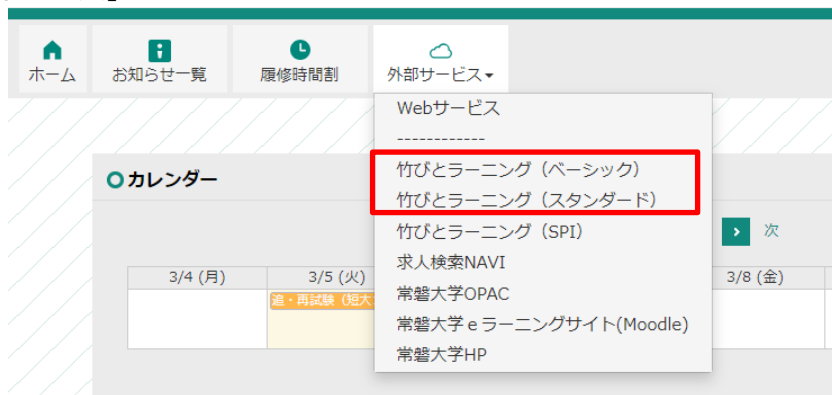
入学前は受験番号でログインしていましたが、入学後は在学生用のポータルシステム「Campus Plan ポータル」で学籍番号を利用してログインする方法に切り替わります。

「Campus Plan ポータル」のメニュー画面「外部サービス」から「竹びとラーニング」へアクセスしてください。

基礎を確認したい人には「**ベーシックコース**」

一般常識試験対策には「**スタンダードコース**」

がオススメです。
※**基礎能力アッププログラム**ではこちらを利用



<https://cpw.tokiwa.ac.jp/portal/>

▶ 「竹びとラーニング」の使い方

①ログインしたら教科を選び、各分野の「実力診断テスト」を受けましょう。

②実力診断テストの結果は、「学習履歴」をクリックすると表示されます。

③不得意分野は「学習のポイント」と「ドリル」で反復学習し、再度「実力診断テスト」に挑戦してみましょう。
※到達目標をクリアするまで、繰り返し取り組みましょう。



スマートフォンやタブレットでアクセスすると、画面デザインが自動で変わります。

分野ごとに実力診断テストを受けましょう。
（※各教科に6つの分野があります。）



「学習のポイント（解説教材）」や「ドリル」でしっかり学習しましょう。理解が深まったら、再び「実力診断テスト」へチャレンジ！

▶基礎能力アッププログラムについて

基礎能力アッププログラムは、「竹びとラーニング（スタンダードコース）」の「実力診断テスト」の結果を踏まえて、不得意分野を克服し、基礎能力を高めるためのプログラムです。入学前教育のうち「竹びとラーニング」を利用した大学共通課題（数学・国語）で80点以上を獲得できていない場合、このプログラムで引き続き「竹びとラーニング（スタンダードコース）」に取り組めます。

- ◎ 自学自習を支援するため、「サポートブース」が用意されています。
- ◎ 「サポートブース」では、定期的にSA（スチューデント・アシスタント）と相談しながら学修を進めてもらいます。
- ◎ 「実力診断テスト」であらかじめ設定された到達目標をクリアできたら修了となります。
- ◎ 常磐大学全学基本科目「**学びの技法Ⅱ**」（1年次秋セメスター必修科目）の**履修要件**になりますので、春セメスター中に必ず修了させましょう。

基礎能力アッププログラムQ&A

Q1. 何をどこまでやれば合格になるのか？

- A1. 指定された分野で80点以上を取ることですが、科目によって内容が異なります。
数学→6分野全部で80点以上が取れた時、【合格】となります。
国語→5分野（“古典・文学史”以外）全部で80点以上が取れた時、【合格】となります。

Q2. 一度「実力診断テスト」で80点以上を取ったが、もう一度受けたら点数が下がってしまい、80点以下になってしまった。またやらなければいけないか？

- A2. 一度でも80点以上を取っていれば、その分野はクリアしたこととなります。
履歴はトップ画面の下にある「学習実績」から確認できます。



【お問合せ先】 常磐大学・常磐短期大学 学事センター TEL : 029-232-2836



eラーニング教材

竹びとラーニング SPI対策コース

～納得のいく就職活動をするには、筆記試験対策が必須です！！～

▶ 「SPI」とは？

SPI（エスピーアイ）は、長い間、多くの企業が就職活動で実施してきた「日本で一番使われている筆記試験」と言われています。「基礎能力検査」と「性格検査」で構成されており、基礎能力検査では言語（国語に相当）、非言語（数学に相当）などが出題されます。特別な知識や専門的な能力を必要とする問題は出題されません。また出題分野や問題の傾向が、かなり固定されているテストでもありますので、

しっかりと対策をすれば、十分に解けるようになります。

▶ 「竹びとラーニング SPI対策コース」でできること

1. マークシート、テストセンター、Webテスト、玉手箱、TG-WEB
上記5種類の模擬テストを受けることができます。
2. 非言語分野・言語分野それぞれに解答のテクニックと演習問題を収録しています。
3. 非言語分野が苦手な人は数学の基礎まで立ち戻って学習することができます。

SPIは繰り返し学習して問題に慣れることが大切です。すきま時間を活用して学習しましょう！！

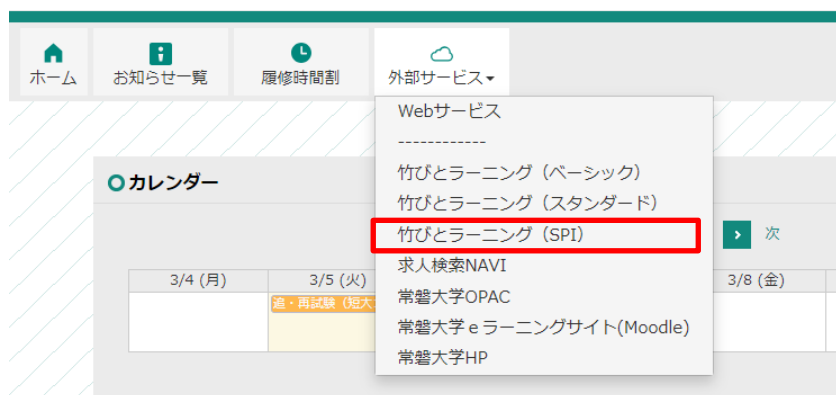
▶ PCはもちろん、スマートフォンでも学習できる！

いつでもどこでも手軽に使えるから、とっても便利！

インターネットに接続されていればPCや各種タブレット、スマートフォンでも学習可能！
移動時間や待ち時間など、すきま時間を有効に活用しましょう！

▶ アクセス方法

「Campus Plan ポータル」のメニュー画面「外部サービス」から「竹びとラーニング SPI」へアクセスしてください。



<https://cpw.tokiwa.ac.jp/portal/>



PC版トップ画面



スマホ版トップ画面

※ログインする端末で画面が自動的に変わります

▶「竹びとラーニング SPI対策コース」の進め方

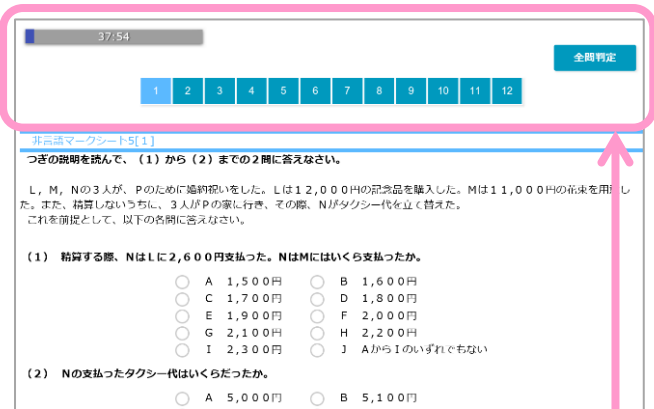
1. まず最初に、非言語分野・言語分野それぞれの模擬テストを受けます。



▲PC版トップ画面



▲スマホ版トップ画面



▲模擬テスト画面

PCでアクセスした場合と、スマホやタブレットでアクセスした場合とでは、画面のデザインが違います。

模擬テストの残り時間の表示と、「設問移動ボタン」及び、「全問判定ボタン」は、画面をスクロールしても常に手前に表示されるようになっています。

2. 模擬テストの結果をふまえて、各カテゴリー毎に解答のテクニックを確認します。 非言語分野の解答のテクニックからは、関連する数学の基礎の問題にジャンプできます。



▲模擬テスト判定結果画面



▲解答のテクニック画面

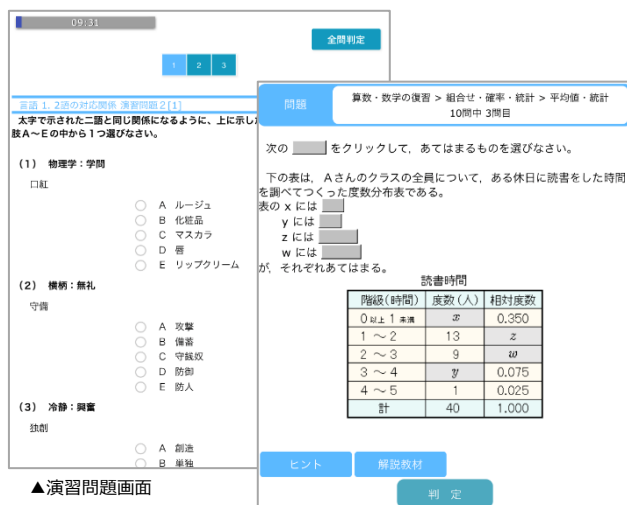


動画教材▶

模擬テストの判定結果には、出題された問題のカテゴリーが表示されます。

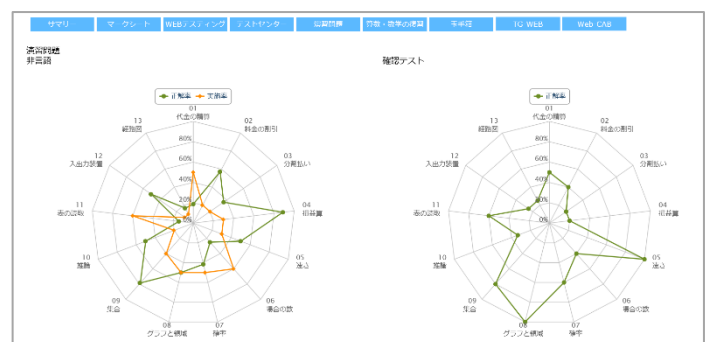
非言語分野の解答のテクニック画面では、「基礎のチェック！」をクリックすると、関連する基礎教材のリンクが下にスライドして表示されます。基礎教材には算数数学の復習・動画教材が収録されています。

3. 各カテゴリー毎に用意された「演習問題」に取り組みます。 苦手な部分は、「算数・数学の復習」で学習し、再度、模擬テストに挑戦します。



▲演習問題画面

▲算数・数学の復習（ドリル）画面



▲演習問題学習実績レーダーチャート

2,000問以上のSPI演習問題と、5,000問以上の数学の基礎学習用ドリルを行うことができます。演習問題の結果は、レーダーチャートで確認できます。